



心と身体の成長を願う夏休み

校長 垣崎 晃

いよいよ子供たちが楽しみにしていた長い夏休みが始まります。夏休みは日頃できない体験のよい機会となります。

私が教員になった頃の話です。夏休みに、昔は区（他区ですが）主催の2泊3日の海浜教室がありました。区内の5・6年生全員に声をかけ、希望者を引率していきます。校長先生（他校）を団長に、区内の教員7～8名が指導者として行きました。1チーム80人ぐらいの子供たちが参加したと思います。同じ学校ならともかく、ほとんどの子が初対面です。バスで岩井まで行き、海水浴やゲーム大会、キャンプファイヤーを楽しみました。

子供たちはすごいですね。その体験を通して、どんどん友達を作っていました。夏休み明け、私のクラスの参加した子が「先生、海で一緒だった〇〇さんと手紙交換したんだ。楽しかったもんね。来年も行こうね。」と話してくれました。夏の体験がすてきなプレゼントをくれたようです。

夏休みは時間がとれますので、都会を離れ自然体験を行う好機です。また、田舎に行く、旅行をするといった遠くへ行くことばかりではなく、ものをつくる、課題について調べる、料理をする、動植物を育てる、遊ぶ等、日常の中でもいろいろな体験ができます。その体験の中で、課題を解決していくために、試行錯誤しながら追求し、課題解決を図っていく過程で子供は考える力、判断する力、学びに向かう力等を身に付けることができます。さらに、解決の過程で驚いたり、知的好奇心を高めたり、解決できた成就感を味わったりすることでしょう。このように様々な体験を重ねていくことは、考える力や判断する力等を培い、感性を豊かにしていきます。そして、生きる力をはぐくむこととなります。

日頃、お子さんとの時間がなかなかとれないというご家庭でも、夏休みは一緒に過ごす時間も増えることと思います。子供と一緒に体験し、団らんを深めてください。すてきな夏休みをお過ごしください。

学校では、夏期水泳教室や学力補充教室などの取り組みが行われます。保護者の皆様には、すでにご案内していますが、子供たちが元気に参加できるよう、声かけをお願いします。